

令和元年度 第2回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和元年10月31日（木）13:30～15:30

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏名	役職等	備考
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
高橋 進	住吉区自治会長（自治会連合会会長）	副会長
塚本 成男	吉田町教育委員会委員（教育長職務代理者）	
増田ちづ子	吉田町農業委員会委員	
増田 学	吉田町商工会会長	
八木 達良	ハイナン農業協働組合専務理事	欠席
増田源七郎	南駿河湾漁業協同組合専務理事・吉田支所担当理事	
武田 高明	静岡うなぎ漁業協同組合理事	
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
木村 志朗	川尻区自治会長	
竹内 昭雄	片岡区自治会長	
中村 道雄	北区自治会長	
畠山 吉秋	吉田町さわやかクラブ連合会	欠席
田中 秀子	吉田町女性団体連絡協議会長	欠席
内藤 義晴	(株)静岡銀行吉田支店長	
三浦 忠司	島田掛川信用金庫理事・地方創生室長	欠席
飯田千恵子	(株)FM島田放送番組審議会委員	欠席
鈴木佐知子	吉田町男女共同参画プラン検討委員会委員 (特別養護老人ホーム住吉杉の子園施設長)	欠席
金子 朱美	保育園保護者（さくら保育園）	
井谷 秀夫	島田公共職業安定所長	
勝岡 聖子	静岡県中部地域局次長	オブザーバー

（敬称略）

4. 委嘱状の交付

事務局より委嘱状の交付について説明した。

5. 新委員紹介

事務局より、新委員の畠山吉秋氏とオブザーバーの勝岡聖子委員を紹介した。

6. 会長及び副会長の選出について

吉田町総合計画等審議会条例第6条の規定に基づき、会長及び副会長の選出が行われた。社会福祉協議会長の田島逸雄委員より、会長に静岡文化芸術大学教授の田中啓委員が、副会長に住吉区自治会長（自治会連合会会長）の高橋進委員が推薦され、本審議会で承認された。

7. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中教授】

ご推薦いただきましたので、引き続き会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今年度、吉田町総合計画後期基本計画の策定が最も重要な作業としてありますが、本日は最初の確認事項ということになります。今後、年度内に本日を含め3回程会議が開催されることとなりますが、駆け足の中でかなり大量の資料をご覧いただくこととなり、皆様のご負担も大きいことと思いますが、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

8. 議事

8.1. 吉田町総合計画前期基本計画 進行管理報告書について

事務局より、吉田町総合計画の趣旨、及び「資料 No.1 吉田町総合計画前期基本計画 進行管理報告書」の説明を行った。

- ・ 【会長】事務局の説明を補足すると、総合計画の期間は8年間あり、前半と後半に分けるのが慣例となっている。前期の4年が本年度で終わろうとしており、後期計画を策定するにあたって前期の実態を確認する必要がある。参考資料 No.1 は施策単位での結果を細かく示したものであるが、全てを読むのは困難であることから、目標値部分のみを取り出してまとめたものが資料 No.1 となる。「不明点等の質問」、「進捗状況に関する確認」、「後期計画に盛り込んでほしい内容等」の3点についてご発言いただけたらと思う。
まずは第1章から第3章についてご意見、ご質問をいただきたい。
 - ・ 【〇〇委員】前期計画が終了間近となり、104項目中37件がA評価となっているが、そもそも総合計画の町民への周知は行っているのか。半分以上が改善しているので、町の取り組みとしてPRするとよいと思う。
- 【事務局】平成27年に総合計画を策定し、平成28年に冊子の作成と同時に概要版を作成し、全戸配布している。また、毎年進捗状況を確認して評価を行っており、結果を公表して

いる。公表だけでは伝わりにくいため、毎年町政報告会で各地区に出向き、特に重点施策等を中心に説明を行っている。

- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P4 の交通事故発生件数で、平成 30 年の実績値 191 と、現状値や目標値と桁がかけ離れているが、正しい数値なのだろうか。
 - 【事務局】平成 30 年の 191 件は人身事故件数のみである。策定時に県警から提供された事故件数には物損事故も含まれていたが、その後人身事故件数のみの提供となったため、後期計画では指標の定義を見直し、人身事故による評価に修正したいと考えている。

- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P8 の観光交流客数は 1 人単位まで出ているが、どのようにカウントしているのか。
 - 【事務局】吉田町の 3 大まつり（小山城まつり、凧揚げまつり、花火大会）、小山城入館者数、小山城資料館入館者数、吉田公園入場者数、町内のビジネスホテル 2 軒の宿泊者数の合計値を示している。
 - 【会長】まつりの来場者数はおおまかな計測だが、入館者数や宿泊者数は正確な数値が示されるためこのような値となっている。数値から受ける印象ほど厳密な値ではないと考えられる。

- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P3 の治山治水対策について、前期計画では大窪川のみを対象としていただろうか。
 - 【事務局】総合計画に代表指標として掲載しているのは大窪川の改修のみとなっているが、総合計画で取り組む治山治水対策としては、参考資料 No.1、P7 に示す通り、他の河川についても取り組んでいる。

- ・ 【〇〇委員】参考資料 No.1、P7 の河川改修事業の進捗率が 0%、令和元年度の目標値も 0% となっている。最近の台風の状況を見ると、いつどこでどのような災害が生じるかわからない状況となっているため、後期計画ではぜひ見直し、目標に入れてほしい。
 - 【事務局】河川の管理については規模によって管理者が国、県、自治体と分けられており、町で全ての河川を改修することはできないが、先日の台風 19 号の被害を受け、担当課でも災害に対する備えが必要という認識は持っている。吉田町管理河川について、後期計画に向けて検討を進めたい。

- ・ 【〇〇委員】参考資料 No.1、P2 のジュニア防災士養成講座受講者に関して、「将来の防災リーダーとしての活躍を期待する」のみの方針となっている。せっかく受講したのだから、後期計画では、講習を受けた中学生に対し、引き続き何らかの役割を持たせるなどの取り組みを進めてはどうか。
 - 【事務局】課題や今後の方針について、現段階では周知や参加促進にとどまっている。後期基本計画を策定するうえで、方針を具体的にしていけたらと思う。

- ・ 【会長】吉田町は長らく地震や津波に対する対策を検討してきたが、近年、気候変動に伴う

災害が増加してきている。後期計画ではそれらの視点を加えていくことも必要である。

- ・ 【〇〇委員】 今回の台風 19 号で、各地区での自助活動を行う際にどのように動いたらよいかについて、町内会長からかなり質問を受けた。自助活動の進め方について、町としての具体的な姿を描いてもらえれば、自主防災会も積極的に動き始めることができる。後期計画には、指導員、自主防災会、吉田町が密接に連携できるよう、早急に進めていただきたい。また、西側で地形が低いことや、ポンプの機能が落ちている箇所もあるようだ。町全体の地形を考えた上での治水計画を考えてほしい。河川については古い時代のことは十分知られていないため、古文書などを調べて参考にしながら治水対策を検討することも必要である。
→ 【事務局】 町でも防災に関わる会議を内部的に何回か開催している。「災害に強いまち」という目標を掲げていることから、町としても早急な対応が必要だという認識を持っている。津波、地震だけでなく、気候変動も視野に入れて検討していきたい。

- ・ 【〇〇委員】 治水対策に関して、温暖化により海水面が上昇し、満潮時には海側から川へ水が逆流することもある。水門を閉めるなど、温暖化を視野に入れた方策を考えていくことも必要である。
- ・ 【〇〇委員】 もともと田による貯水機能があったが、開発に伴う田の減少により、貯水機能が低下しているとも考えられる。稲荷水門にはポンプがなく、弁による逆流防止のみとなっているが、気候変動の激甚化を考慮すると限界が来ることも考えられる。今後ポンプをつけるなどの対策も必要ではないか。
→ 【事務局】 資料 No.2、P3 に示す通り、担当課で住吉地区浸水対策計画の策定を後期計画の目標に掲げることを予定しており、町としても治水対策は非常に重要であると認識している。

- ・ 【会長】 治水対策について多く指摘があり、重要性が高いことが伺える。

- ・ 【〇〇委員】 資料 No.1、P4 の消防団協力事業所表示制度とはどのようなものか。現状で消防団が足りないことから、活用できるとよいと思うので、説明していただきたい。
→ 【オブザーバー】 事業者の中から消防団に入り活動していただくことで、県の法人事業税(個人も含む)が、条件が合えば減税になる制度である。大企業等では該当しないところもある。商工会議所に PR を依頼しているところである。
- ・ 【会長】 商工会議所ではこの制度について PR を進めているか。
→ 【オブザーバー】 ぜひ PR を進めていただきたい。
- ・ 【〇〇委員】 消防団員の確保に協力する制度ということか。
→ 【オブザーバー】 その通りである。

- ・ 【会長】 3 章では産業・雇用について示しているが、3 章について発言はないか。

- ・ 【〇〇委員】 資料 No.1、P8 の観光入込客数の目標値が 50 万と設定されているが、どこから人を引っ張ってくると想定して設定したのだろうか。
→ 【事務局】 吉田町で「シーガーデンシティ」をにぎわいの場とする中で、静岡県では空港を

核としてにぎわいを創出する「空港ティーガーデンシティ構想」を策定しており、吉田町に向かってオーシャンロードという道の表示をしている。静岡空港、インバウンド等を含め、様々なところから人を呼び込むということを想定して進めている。

- ・ 【〇〇委員】先日しずてつ観光サービスと話をした中で、中部横断自動車道ができたことで、清水から甲府までの移動時間が1時間程度短縮され、旅行のプランが変わってきているという情報を得た。今まで1泊を想定していた甲府、信州からの旅行が日帰りできることになったとのことである。吉田町は道路条件がよいため、ICを上手く活用し、内陸（甲府、信州、長野など）をターゲットとした日帰り観光なども考えられる。観光名所を作り、ターゲットを明確化してセールスプロモーションをかけた方が、効果的であると考えられる。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P9 の新産業の中で、「大学と連携した新商品等の開発等」の実績値が1件とあるが、自分の知る限りでも大学の技術力を自社の製品に受け入れたい企業は結構多く、もっとニーズがあるかもしれない。アナウンスの仕方を工夫し、銀行とも連携して、力を入れて取り組んでいけるとよい。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P9 の雇用について、インターンシップの参加受け入れ企業が平成30年度実績で32社あるにもかかわらず、令和5年度では5社になっている。減らすことは時代に逆行してしまうのではないかと。
 - 【会長】令和元年度に5社という目標を立てていたが、平成30年度では32社と大幅に上回る実績を示したということではないだろうか。
 - 【事務局】平成30年では令和元年度の目標値の5社を上回る実績値を示している。
- ・ 【〇〇委員】現状値が目標値を大幅に上回っているということで、後期計画では目標値をさらに改定していくことが考えられる。インターンシップについては企業のニーズが非常に多い。雇用対策の一環として、学園祭でブースを作る等、新卒者を町に呼び込む取り組みを行政で積極的に行うことも必要である。銀行も協力していく。
- ・ 【会長】今後は1章から3章のみでなく、後半も含め全体のご意見をお願いしたい。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P10 の住環境について、空き家は非常に大きい問題であると考えられる。無人であるため、空き巣、犬猫が入り込むなどといった問題が懸念される。空き家の対策について委員会を設けた方がよいのではないかと。町で取り組みを行っているとしても、自治会からは取り組みが見えてこない。
- ・ 【会長】空き家対策検討委員会の設置については実績が0となっているが、町ではどう考えているのだろうか。
 - 【事務局】今年度中に設置見込みであり、その後会議を重ねる予定となっている。
- ・ 【〇〇委員】川尻では高齢者が多く、今後も空き家が増える見込みとなっていることから、住民や自治会から見て空き家対策を進めていることがわかるようにした方がよい。
- ・ 【〇〇委員】参考資料 No.1、P45 の農業について、最近県内で豚コレラが4件程発生しており、予防接種については県で行うと聞いている。前期計画では豚日本脳炎についての対策は

- されているが、後期計画では豚コレラの対策も含めて検討してはどうか。
- 【事務局】豚コレラについても対応していく必要がある。その他対策が必要な伝染病もあわせて後期計画で検討するよう担当課に伝える。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P14 の青少年健全育成で、「笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数」とあるが、違和感がある。「笑顔いっぱい運動」に参加している人数のことだと思うが、活動人数なのか登録人数なのか、具体的な内容がわかりにくい。
- 【事務局】「笑顔いっぱい運動（あいさつ運動）」の賛同者にスタッフベストを配布している。掲載の数値は平成 16 年頃からの配布数の累計であることから、実質の活動人数を示していない。後期計画では指標の表し方について妥当な表現となるよう検討したい。
- ・ 【〇〇委員】災害時に、小規模事業者が床上浸水をしたために出たごみを持っていったところ、産業廃棄物と判断されて受け入れを拒否されたという話を聞いた。企業と小規模事業所の括りを再確認していただきたい。
 - ・ 吉田町の商工会事業者数は 3 万人の人口に対し 700 件程度と多い。700 件の事業所や家族がある中で、製造品出荷額、商品販売額に関してどこの分野で調査しているのか。
 - ・ 総合計画の中で商工業に関する取扱いが少ない。国としても小規模事業者を支援していく方針を示す中、従来からまつりなど地域づくりに協力してきた小規模事業者に対し、町の支援がおろそかになっていないだろうか。昨年度県の監査指導では、全国的に廃業が多い中、吉田町では事業者が増加し、活気がある状況にある。後期計画では小規模事業者に対する支援について具体的に示し、施策を行っていくことで好循環をもたらすと考えられる。新商品開発支援件数の実績値が 0 件であることから、中小企業振興に向け、今後具体的に進めてほしい。
 - ・ 【会長】中小企業支援についてご意見をいただいた。総合戦略とも絡んでくると思うが、事務局の回答はあるか。
- 【事務局】中小企業の支援や創業も含め、考えていかなければならない問題であると認識している。今後、商工会とどのように連携するか、担当課と検討していく。
- 【会長】商工業の分野については、工夫次第で発展・拡大が見込まれ、工夫する余地がある。中小企業や零細企業の分類については、制度によって区分が異なり、縦割りで整理が難しい部分もあるが、できる部分については町で対応してほしい。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P15 の下水道の件で、普及率が上がっていないが、バランスを考慮して対策を進めていくよう計画に盛り込んでいただきたい。
 - ・ 【〇〇委員】資料 No.1、P16 のごみの減量・リサイクルについて、残り物（食品ロス）を捨てるのではなく、ネットワークを通じて買い物に来てもらうような取り組みがあると聞く。新しいシステムの構築に向けて行政で取り組んでいくことも必要ではないだろうか。
 - ・ 【〇〇委員】福岡県の柳川市に視察に行った際に、柳川ブランドを推進してまちおこしをしている取り組みを見た。吉田町も商工会議所等、産業 4 団体を含めながら「吉田ブランド」

の基準を作っていたいただき、地場産業の活性化を図ることで本来の発展を望めるのではないだろうか。吉田のブランド化を後期計画に含めることで、産業振興のみならず、子どもたちの未来、雇用促進、町の活性化等、あらゆる部分で好循環をもたらすと考えられる。後期計画でぜひ検討していただきたい。

- ・ 【〇〇委員】先程別委員が言っていたが、学園祭等で町の産業に関する活動内容を PR し、良い人材に来てもらうようにする取り組みは重要である。うなぎの養殖は担い手不足の状況にあるが、職員は一生懸命取り組んでいる。こうした取り組みを大学生などに知ってもらう機会を創出してほしい。
- ・ 【会長】まちづくり公社にもぜひ関わっていただくとよい。

- ・ 【〇〇委員】個人的な意見となるが、仕事に間に合わないため、保育園の開始時間を早めてほしい。保育園は現況 7:30 からだが、仕事が 8:00 からなので、子どもを保育園に送っていくと遅刻してしまう。あと 15 分でも開始が早いと焦らずに仕事に向かえる。その他の部分では、吉田町は子育てしやすいと感じている。
- ・ 【会長】後期計画を待たずに可能であれば早急に対応してほしい。また、さらに子育てがしやすい地域にしていきたい。

- 【〇〇委員】教育面では教育委員会で進めているので特にないが、参考資料 No.1、P51 で商工会への補助金を出すところがあるが、700 件ある事業所に対し、200 万円の補助金で小規模事業者の経営改善が図られていると考えるのは認識が甘いのではないだろうか。増額に加え、それ以外の方法でも小規模事業者を支援するスキームを作っていく必要がある。
- 【〇〇委員】資料 No.1、P11 で、バス路線を 4 路線確保し目標達成となっているが、実際には路線数があっても本数が間引きされるなど、使い勝手が改善していない。使い勝手がよくなっているかということまで掘り下げた評価も必要ではないだろうか。

- ・ 【〇〇委員】雇用面については、インターンシップの件で別の委員から質問されてスッキリしたところだが、若い人を中心に、吉田町の仕事や会社に対する理解が進んでいないと感じる。U ターンして吉田町で就職しようという学生も、町内の企業について知らないため、対象が大企業中心となり、中小企業に目が向かないという現状がある。昨年度、町内の企業を集めたガイドブックを町で作成されているが、十分に周知されていないようである。大学等に配布するなど、幅広く吉田町の企業の情報発信をしていくと町の発展につながっていくのではないだろうか。

- ・ 【〇〇委員】参考資料 No.1、P20 の地域医療について、榛原総合病院では、徳洲会の指定管理が終了するが、その後の進捗はどうなっているのか。また、それに伴う協議会が開かれていない状況にあるが、町としては今後どのように考えているのだろうか。
- 【事務局】榛原総合病院の指定管理については、徳洲会が引き続き運営していく方向で進めているところである。協議会については開催されていない理由について確認する。後期計画では今後医療関係者とも連携を図りながら医療体制の整備を進め、安心して受診できる体制を構築していきたいと考えている。

- ・ 【〇〇委員】企業誘致に関して、水を求めて大企業・優良企業がきたことから吉田町が発展してきたのは承知しているが、昔からいる地元企業が地域に貢献してきているのに対し、新規・大規模企業は町への貢献がない状況にある。今後は新規・大規模企業の町への貢献についても考えていただきたい。
- 【会長】これまでどのような枠組みで進めてきたのだろうか。町が仲立ちするといったことも必要であると考えられるので、検討していただきたい。

8.2. 次期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

事務局より「資料 No.3 総合戦略の評価について」及び「資料 No.4 吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表（平成 30 年度実績）」の説明を行った。

- ・ 【会長】まち・ひと・しごと創生総合戦略は、吉田町の人口減少対策のために作っている、やや短期的な計画である。産業、雇用、子育て支援等に関する目標値の実績を報告していただいた。今の説明に関して質問があればご発言いただきたい。
- ・ 【〇〇委員】資料 No.3、P4 の 5-4 「お達者度」、5-5 「自立高齢者割合」、5-6 「介護予防の自主活動回数」の 3 つの言葉がわかりにくい。一般の人にもわかりやすいように工夫できないか。
- ・ 【会長】事務局より、言葉の説明をしていただきたい。
- ・ 【事務局】お達者度は、65 歳からの平均自立期間（元気で自立して暮らせる期間）を算出したものとなる。要介護の 2～5 に該当しない状態を自立している、と定義している。
- 【オブザーバー】「お達者度」は静岡県独自の指標となっている。
- ・ 【会長】委員よりわかりづらいとの指摘があったため、括弧書き等で注釈をつけるとよいのではないだろうか。
- 【事務局】他の指標についてもあわせて見直し、わかりやすい表現となるよう対応したい。
- ・ 【会長】総合戦略についても、総合計画の後期計画を踏まえて作成していくが、国が新しく出す総合戦略でどのようなものを求めるかによって左右されてくる。現行の指標については大半が残ると考えられるが統廃合や新規追加もあると考えられる。今後、町から情報提供があると思うので注視していただきたい。

9. その他

- ・ 【事務局】今後のスケジュールについては、12 月中旬に推進本部会議を経て、1 月中旬に第 3 回審議会において総合計画、総合戦略の素案について諮問する予定である。その後、パブリックコメントと並行し 2 月中旬に第 4 回審議会を開催し、計画の答申を行う予定となっている。

以上